

1. 件名：OECD/NEA CSNI WGIAGE の高経年化に関する新規活動等に係る意見交換

2. 日時：令和5年6月26日(月)13時10分～15時00分

3. 場所：16A会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

橋倉主任技術研究調査官

北條主任技術研究調査官

経済協力開発機構／原子力機関：1名

MHI NS エンジニアリング株式会社：1名

5. 要旨

経済協力開発機構／原子力機関（以下「OECD/NEA」という。）の原子力施設安全委員会（以下「CSNI」という。）に設置されている、機器・構造物の健全性及び高経年化に係るワーキンググループにおいて今後予定されている新たな共同研究活動について、主に金属材料分野の意見交換を行った。

OECD/NEA より、新たな共同研究活動は、原子力発電所の長期運転に関する現状を調査し、60年を超える原子力発電所の安全な運転のために取り組むべき技術と必要な知見を明らかにする目的で行われるものである旨説明があった。

これに対し、原子力規制庁は、運転期間延長認可申請の審査及び高経年化した発電用原子炉の安全規制の検討状況について説明し、新たな共同研究活動に主導的な立場で参加することは出来ないが、原子力発電所の長期運転に関する現状を調査するために協力することは可能である旨伝えた。

なお、MHI NS エンジニアリングからはCSNI傘下の電気システムに関するワーキンググループにおける議論の状況について簡単な説明を受けたが、電気関係及びコンクリート構造物関係については後日意見交換を行うこととした。

6. その他

資料：なし